

## ボウリング競技実施要領（知的）

### 1. 競技規則

令和８年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

### 2. 競技方法

- （１）試合の方法は、シングルレーン（同一レーンで投球）方式で行う。
- （２）競技はすべてスクラッチ（ハンディなし）２ゲームとし、その合計得点により順位を決定する。順位決定の際、同点の成績の場合は、規定に基づきゲームローハイにて決定する。２ゲームのハイゲーム（スコアの最も高いゲーム）とローゲーム（スコアの最も低いゲーム）の差が少ない選手が上位となる。もし、それでも同点だった場合は、ストライクの多い選手、その次はスペアの多い選手が上位となる。
- （３）順位は、男女別、年齢区分別、組別に決定する。
- （４）隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。

### 3. 競技服装等

- （１）服装はボウリング競技を行う上で支障のないものを着用する。
- （２）ソックスを必ずはくこと。
- （３）番号布（ゼッケン）は主催者の交付したものを、競技服の胸部および背部に付けること。

### 4. 招集

- （１）招集は各ボウラーズベンチで行う。招集完了は競技開始時間の１０分前とする。招集完了時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- （２）競技時間は、進行の都合により変更になる場合があるので、放送や係員の指示に十分注意すること。
- （３）シフトにより競技時間の変更の場合（放送で案内）も、競技開始時間の１０分前には指定されたボウラーズベンチに集まること。いない場合は、棄権したものとみなし、競技に出場できない。
- （４）招集時にはボール（ハウスボールの場合は所定の位置から選び、競技終了後は元の場所に返却）の準備、シューズも履き替えておくこと。

### 5. 表彰

- （１）競技終了後、各組ごとにおこなう。
- （２）競技終了後、指示があるまでベンチを離れてはならない。

## 6. その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず係員に申し出ること。
- (2) ボウラーズエリアへ入れるのは、選手・役員・大会運営者に限る。
- (3) 競技会場のハウスシューズを使用する選手は、参加申込書に記入し、申し込みをすること。ハウスシューズの使用料金は、実費とする。  
申込のあったシューズは、当日各レーン後方に用意しておく。返却は係員の指示に従うこと。
- (4) ボールを拭くタオルは、選手各自で用意すること。